

春
夏
秋
冬

四季のコンサート だより

1991年9月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 浜松市東伊場1・10・507

電話連絡454-1746(高田)

ピアノの音に魅せられて

辻 文明

自分自身から音楽が好きになったのは確か中学生の頃である。父がベルリンで買って帰ったRCA製のレコード装置で、コルトーやパデレフスキーを聞いたのがきっかけとなった。それ以来、病み付きになり今日に至っています。作曲家の中では、少しおしゃべりが多いという感じですがモーツァルトがすんなり聞けたし好きであったし、今もそれは変わらない。或る音楽雑誌で読んだ事を覚えています、何人かの専門家に対して、「貴方の好きな曲を20曲挙げて下さい」と云う記事です。それはとても難しい問いではないかと感じたものです。アマチュアの私でさえ好きな曲は山ほどあるし、他に好きな作曲家もたくさんいます。つくづく感じているのですが、音楽(芸術)の世界は巾広くそして奥が深いものですね。

100年程前にある外国人が、音楽会が成立する条件として「演奏家」「楽器」「会場」「聴衆」と唱えています、一つ忘れている点があると思います。それは音楽家を連れて来てくれる音楽事務所、つまりプロモーターです。全くお金もうけに縁のない、しかもパフォーマンスの高い音楽会を提供して下さっている「浜松音楽友の会」のスタッフの方々には深く感謝いたします。それと仕事柄、楽器の中でもピアノをこの上なく好んでいます。ppからffまで微妙にコントロール出来、またオーケストラ的要素を持った楽器の王様である所以よりも、音が消えて行くところに最大の魅力を感じます。余韻が何とも云えない、音楽は静けさの中に生きると思っています。地元(地方)の演奏会は、大都会とは違った素晴らしい味わいがあります。音楽会で感動した気持ちをそのまま自分の家まで持って帰る事が出来ますからね。



1992年 コンサート予定

- | | |
|----------------------|------------------|
| 冬 「林康子ソプラノ・リサイタル」 | 3月7日(土) 市民会館ホール |
| 春 「アンサンブルの夕べ」 | |
| 吉野直子(ハープ)と工藤重典(フルート) | 4月20日(月) 市民会館ホール |
| 夏 「小山実稚恵ピアノ・リサイタル」 | 6月19日(金) 市民会館ホール |
| 秋 「山下和仁ギター・リサイタル」 | 10月8日(土) // |

ふれあい音楽会

杉山里佳

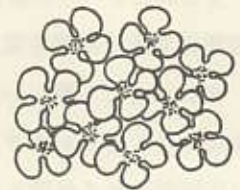
今までのふれあい音楽会の中で、私が一番印象に残っているのは、リュート・チモフェーエワさんのピアノリサイタルです。その時私は、チモフェーエワさんに舞台上で花束を渡す役目になっていました。

当日は、この人に花束を渡すんだ、と思うといつもより演奏を熱心に聞いてしまいました。チモフェーエワさんの曲の感じ方、息づかい、いかにも楽しそうに演奏している様子、私は今までの音楽会で、こんなによくピアニストのことを目で見たことはなかったです。

いざ花束を渡す時、私はポーッとしてしまって、ゆうべ渡す練習までしたのですが、そんなことなんてすっかり忘れてしまい、気が付いたら舞台のそでに立っていました。いったいどうやって渡したのか思い出せませんでした。

私も少しでもチモフェーエワさんのようなステキな演奏ができるようになりたいと思いました。

そして、それ以来、このふれあい音楽会を以前とはちがった聴き方で聴けるようになりました。



おくればせのクラシックファン

鈴木江子

私、自慢じゃありませんが、この会発足当初からの会員です。更に、自慢できませんけど、クラシック音楽に関する知識皆無です。

クラシック音楽を聴くような家庭の育ちではありませんでしたし、唯一、学生時代に触れたそれらは、ひどく難解で楽しむどころではありませんでした。たくさん作曲家たち、彼らの生まれ育った国の風土、歴史、曲が生まれたいきさつ……頭が痛くなります。そして大勢の演奏家たちと多彩な楽器たち。私は「コントラバス」という名前を覚えるまで「ヴァイオリンのおとっつぁん」とひそかに呼んでいました。

そんな私がこの会に入会したのは、お誘いを受けた頃、あまりに仕事が忙しく、心の余裕を失っており、生活に小さな風穴の一つでもあけられたらと思ったからでした。

そういうわけですから、入会当初はやはり肩に力が入っていました。姿勢正しく聴かねばならぬ……みたいな思い込みがありました。「理解」しなければ……と解説書を何度も読み返したりもしました。でも回を重ねるうちに、いつの間にか、肩から力が抜けて演奏を楽しんで聴けるようになりました。その原因の一つは、演奏の合間のインタビューです。例えばピアノの鍵盤の上を行き来する演奏家の指は、時として人間業とは思えない……という緊張感を私に与えますが、そういう演奏家たちがインタビューでは一転、温かい笑顔や楽しいジョークで私の心に急接近してくるのです。ミーハー的好奇心の強い私にはとても楽しい一時です。そして、もう一つは、自分で言うのもシャクですが、私自身の老化現象です。せっかく一生懸命読んだ解説の内容がすぐさま頭から抜け出していくのです。やむを得ず、「知識」や「理解」にこだわるのはよそう、音楽は音を楽しむものだ、とひらきなおったのですが、おかげで、とても気分が楽になり、演奏会が以前よりいっそう待ち遠しいものになりました。

今夏のボーナスで、しばらく前からの念願どおり、車の中でCDが聴けるようにしました。その時々で、ピアノを聴く、ヴァイオリンを聴く、オーケストラを聴く……目下、きわめて快適な毎日です。

ほとんどボランティア活動とも思えるこの会のスタッフの皆さんに、心から乾杯!! ……ではなくて、感謝!! ……です。

事務局に素敵なお便りが届きました

浜松音楽友の会事務局員の皆様、いつもいろいろご苦労様です。

今頃誠に申し訳ないのですが、脱会を希望します。今年にはいり妊娠がわかり初秋に出産しますので。

「ふれあいおんがくかい」が今年で8年目を迎える事にあらためて気づき驚きの思いです。私が入会してもうそんなにもなるんですね。ピチピチのOLだった私が母となる訳です。あらためて時の流れを感じました。

浜松で、しかも低料金で一流の音楽家の演奏をじかに聞く事ができる「ふれあいおんがくかい」は、本当に素晴らしい事だと思います。事務局員の皆様、これからもがんばって下さい。

クラシックを定期的に聞く事ができ、時に涙ぐむほど感動し、時にはこくこく眠りこけ、素晴らしい7年間の思い出をありがとうございました。

注文をつけるとすれば、私もぜんぜんマナーを知らないのですが、観客のマナーがいまいち悪いのではないのでしょうか。子供が多いとはいえ、大人がもっと注意していればと、何度か腹だたい思いをしました。私はしっかりしつける母親になるぞ！

私をふくめ大人ももう少しマナーを向上させた方がいいのではないのでしょうか。時々恥ずかしいと感じるのは私だけでしょうか。

これからより一層の発展を祈っております。

磐田市 宮口知子さんより

※ この会報が刷り上がる頃には、元気な赤ちゃんが誕生していること
でしょう。今度は是非、お子様と一緒にふれあい音楽会にいらして下
さい。スタッフ一同、心よりお待ちしております。 —事務局—



スタッフ 河合みね子

保育室をよろしく！！

私が、保育室をお世話させていただくようになって、4年目を迎えました。

年に4回しか会えない子たちなので、会う度の成長は、目を見張るものがあります。幼稚園との違いは、0才児から小学生までが一つの室の中で、短時間過ごすことです。そして、一番保育で大切な信頼関係が成り立っていない事です。ですから、お母さんから預かると同時に泣き出し、何をいってもダメ、ひたすら泣く子を抱き、あっちへ行ったり、こっちへ行ったり七転八倒、そんな姿をみかねて他の保母が代わろうとして、「おいで」と手を出しても今以上に泣き出し、しがみつく状態、もはやその初めに抱いてくれた保母が、辛い間、共に時間を過ごしたということから、自分のことを心配してくれ、安心できる人なんだということがわかってきたことになります。そして、回を重ねて、泣く時間が短くなり、知らない子とも遊べるようになり、「また来るね」と言って帰っていく時は「よかったな」と思います。

親心で自分だけが楽しんで申し訳ないような気がしますが、決して悪いことばかりではありません。知らない子と遊ぶことによって、協調性や社会性、小さい子への思いやり、テレビゲームやおもちゃも少ししかない狭い室の中で、遊びを見つけるのは大変な事です、人はいます。寂しい時、うれしい時に傍にいてほしいのは人です。保育室の短い時間ですが、人とのつき合い方を学んでいってくれたらと思います。

日ごろ、子育てにおわれ、心にゆとりがなく、お子さんに当たってしまう事もあるかと思いますが、せめて年4回のコンサートでストレスを解消して、母を忘れて夢の世界をお楽しみいただき、今後の子育てに精を出して下さい。

年会費改定についてのお願い

浜松音楽友の会代表 佐藤安子

浜松音楽友の会も、お陰様で来年は9年目を迎えることになりました。一流の演奏家のコンサートを低料金でという理想を掲げてまいりましたが、幸い今日まで順調に歩んでこられましたことは、多くの会員の皆様が支持して下さいのおかげでございます。ありがとうございました。

今年度まで8年間、年会費を4,000円に据え置いてまいりましたが、初年度に比べ演奏家の出演料や会場費が非常に高騰しておりますし、又、消費税の導入なども重なり、年々運営が大変になってまいりました。つきましては、来年度より年会費を5,000円にさせていただきたく、お願い申し上げます。

来年度も魅力的な演奏会を企画しております。どうぞ、これまでに増して御支援御協力をお願い申し上げます。



9月26日(木) 松本美和子ソプラノ・リサイタル

| | | | |
|----------|---------|---------------|-------|
| 鐘が鳴ります | 山田耕筰 | 四月 | トステイ |
| 赤とんぼ | 〃 | 「オテロ」より | |
| 中国地方の子守歌 | 〃 | 柳の歌 | ベルディ |
| マッティナータ | レオンカバレロ | 「ジャンニ・スキッキ」より | |
| 忘れな草 | クルティス | 私のお父さん | ブッチーニ |
| 理想の人 | トステイ | 「ファウスト」より | |
| カロミオベン | ジョルダニー | トゥーレの王さま | グノー |
| すみれ | スカルラッティ | 宝石の歌 | 〃 |



会員の皆様へお願い

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内でお願いいたします。

会員登録 は年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は住所 氏名 電話 会員番号を御記入の上前年度の10月末日迄に事務局宛退会の旨御連絡下さい。

名義変更の方も葉書に旧会員と新会員の住所 氏名 電話 会員番号(旧会員の)をお書きの上事務局宛お送り下さい。